

第14回研究会を11月26日(木)に湯梨浜町で行いました。

今回は◇試作中の紙芝居『碧川かたの生涯』を披露 ◇かたの乳母きそについて ◇堀正の略歴とかたの動きからわかったことを発表した。

◇きそさんのこと

昨年11月の研究会の後、1月末に会員4人が、

仁平・きそさんの

曾孫の藤井ご夫婦を尋ねた。話をしてくださり、除籍簿をとりよせ、コピーをいただく。

そのおかげで乳母が嫁に行くという疑問が解けた。養生館でのかたの乳母と企救男の出会い『拾有七年』にあり、きその温かい心情が出ていて、身近なおばあさんに思える。

◇堀正略歴とかたについて

堀正の手記は『元九郎奔る』(堀啓次郎著)の付録にあり、昨年の湯梨浜での研究会で配布したが、解読完成はこの春になった。鳥取藩士として戊申戦争に関わり、西南戦争・日清戦争を終えて、東京の久松学舎の幹事を請けたのが明治28年9月で、56歳の時である。ちょうどその9月〜10月にかたと企



研究会の様子

救男も上京するわけである。堀一家が高知に赴任するのは明治14年8月であることが明確になった。かたは高知で初めて小学校にあがったと言われているが、明治5年生誕説では9歳、明治2年誕生説では12歳まで、小学校には行っていないのかという疑問が残る。

◇『碧川かたの生涯』紙芝居について

紙芝居は今年度の活動の一つで、5月から月一回実行委員が集まり、検討を重ねてきた。三木露風の「赤とんぼ」の歌は有名だが、その母かたを知ってもらうための導入として制作した。上演した後、参加者はさまざまな感想・意見を述べ合った。

実行委

員は上演時間が長すぎると感じたので、再検討し、余分なところは省いた。母子のつながりのエピソードは出してほしいという意見も取り入れた。削るところは削り、要望のあった部分を入れたので、かなり、変わってきたが、仕上がりを楽しみにしてほしい。



紙芝居上映中の実行委員 (左から中村祐子・四井・中嶋二三雄)

左ページに関連の記事あり。

河越太郎氏のご長男の墓参にご一緒しました

河越太郎氏は昭和50年に『よみがえれ赤とんぼの母』を自費出版して、かたを紹介している。



ご長男の村田淳郎氏 真教寺公園墓地にて

コロナ禍の中、延び延びになっていた墓参に11月4日、町田市から来られ、真教寺の墓地にある河越家・村田家のお墓詣りにご一緒しました。

前回、会話の中で「河越家は鳥取藩で槍の指南役だった」と言われるので、県博物館で家譜を読んでみると、確かに村田も河越も槍の指南役であったし、二十士事件にも関わっていたことが書いてあった。一世代前の太郎氏が和田邦之助やかたに関心を持つておられたのもうなずける。

県図書他で『よみがえれ赤とんぼの母』が貸出しできないことを話すと、後日3冊送ってきてくださり、感謝している。

四井幸子

碧川かたが載ったということ。早速入手してみると、中国・四国・九州編の「おらが村の女偉人伝」に鳥取県は「赤とんぼの母」は女性運動家」と題してかたを鳥取県の偉人としている。事務局によると、たつのかたの会ホームページを見て、取材されたという。

碧川かたの生涯を描いた紙芝居

『赤とんぼの母 碧川かたの生涯』

完成は間近！



この度の湯梨浜中興寺、龍徳寺での「碧川かた研究会」では、碧川かたの生涯を後世まで残し、みんなに知ってもらうための紙芝居を会員がひと足先に見せて頂きましたので、紹介します。

このお話は、明治の初めの、操(後の露風)と弟勉と母かたの日常生活から始まる。子守歌が万葉集の歌とは何と文学的か。夫は酒を飲み、朝まで帰ってこない日が続く。舅は「息子と別れてくれ、やり直してくれ」と言う。勉を連れて鳥取に帰る。置いていかれた操にとつては悲しい別れである。母を慕う気持ちがあつたとあり、「赤とんぼ」の歌ができたようだ。

東京で看護師の勉強をした後、看護師をしていた。ドイツ留学の話が起きて、東京に一緒に来た碧川きくお企救男に相談したところ、「留学をやめて僕と結婚してください」と求婚さ

れる。「一緒に歩んでいきます」と再婚した。仕事で行った欧州からの企救男の手紙で、欧州では女性が男性と同じように活躍していることを知り、一念発起、『女権』という雑誌を作った——という紙芝居でした。

会員さんの反応は「絵がとても素敵。色使いも暖かく、やさしさにあふれている」とか、「3歳の勉にお乳をやり帰るシーンがあつたが」の質問があり、「かたの末娘 清は9歳まで乳をのんでいた」と知る。主人公が2人いるようで、どちらかに重点をおいてはどうか。などの意見が出た。

今後印刷して来年2月頃に完成予定とのこと。より多くの人にこの話を知ってもらい、「母を想う子の気持ち」、「子を想う母の気持ち」を紙芝居を通して体感していただけたら嬉しいです。

倉吉市

山崎益江

「来年度からの研究会」

この3年間広く会員を集め、県内の鳥取市・湯梨浜町・米子市の3か所で研究会をしてきたが、次年度からは正会員として年会費を集めて、いよいよブックレット作成をめざして本格的な研究会にしたい。3か所ですることには変わりない。引き続き、正会員として学び、深めていきたいものである。熱心な方の入会を望む。

「今開催している北栄町での

手作りパネル展」

★12月8日(火)～12月25日(金)
★北栄町図書館(由良宿)で

パネル展をしています。←

近くに行かれましたら寄つてみてください。

令和新时代
創造県民運動



「たつのかたの市へ」

コロナの状況によっては中止の可能性もありますが、来年度早々たつのかたへ出かけてみようという動きがあります。ご希望の方はお知らせください。

☆また来年度鳥取市で開催予定の研究会でお会いしましょう